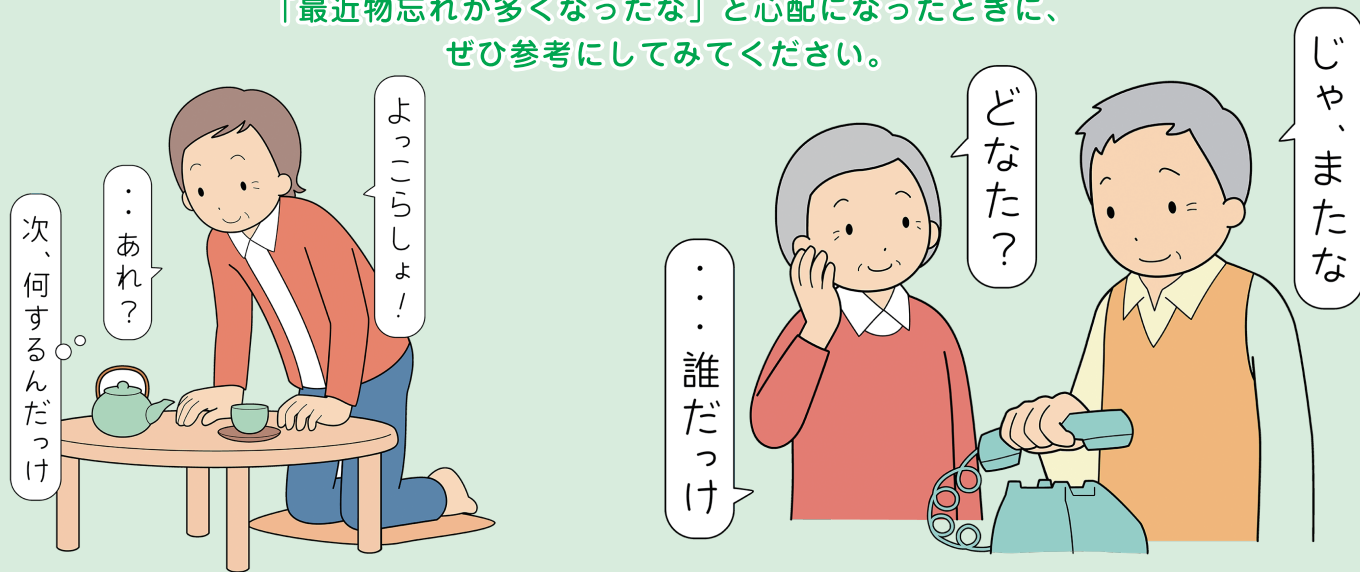


物忘れに気づいたとき、
 「もしかして認知症かも…」と心配になったことはありませんか？
 もしくは「歳のせいだから」と気にしないようにしている方もいるかもしれません。
 しかし、認知症による物忘れと、加齢による物忘れは別物です。
 高齢になると脳の機能が衰え、誰にでも物忘れが見られるようになります。
 「財布をどこにしまったっけ？」
 「明日だと思っていた約束が今日だった」
 といった経験が、皆さんにもあるのではないのでしょうか。
 老化現象と認知症、それぞれの物忘れについて以下に特徴をまとめました。
 「最近物忘れが多くなったな」と心配になったときに、
 ぜひ参考にしてみてください。



加齢による物忘れと認知症の違い

加齢による物忘れ

体験の**一部**を忘れる

何を食べたか思い出せない

約束をうっかり忘れてしまった

目の前の**人**の名前を思い出せない

置いた物の場所をしばしば思い出せない

ヒントがあれば思い出せる

日常生活に大きな支障はない

認知症

体験の**全部**を忘れる

食べたこと**自体**を忘れる

約束したこと**自体**を忘れる

目の前の人が**誰**なのかわからない

置き忘れ、紛失が**頻繁**にある

ヒントがあっても思い出せない

日常生活に支障が出る

執筆者プロフィール



(株)ネクストインベション代表
 五味 和仁

1982年生まれ 帝京福祉専門学校を卒業
 2019年、株式会社ネクストインベションを設立。
 介護業界に19年…積み上げてきた知識や経験を元に誰もが訪れる
 介護の不安を軽減できるように介護の専門家として活動。
 企業の福利厚生として従業員の介護離職予防支援事業を展開
 中。山梨日日新聞や数々のマスメディアでも福祉(介護)の取り組
 みを紹介される。また、YouTubeにて情報発信していますので、
 介護情報が欲しいという方は「Social Gift」というチャンネル名で
 検索してみてください。

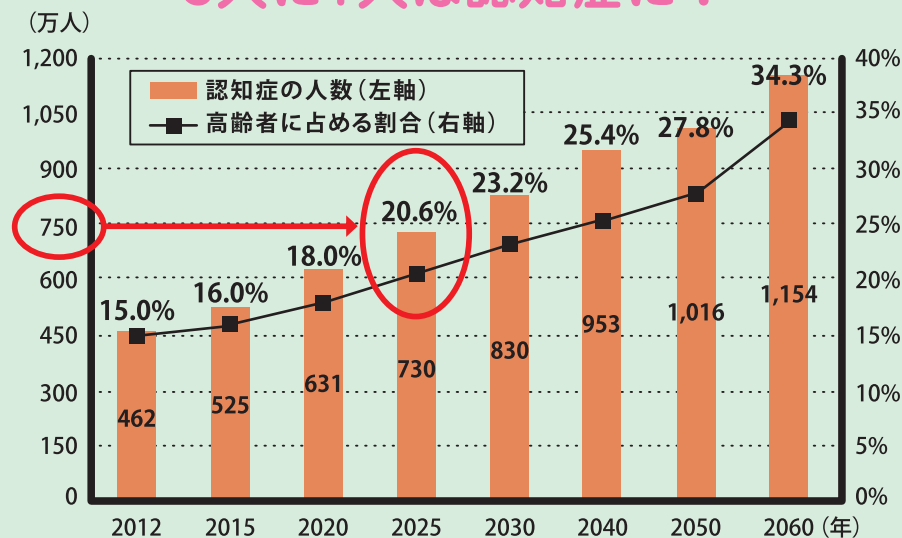


公式 LINE アカウント



HP

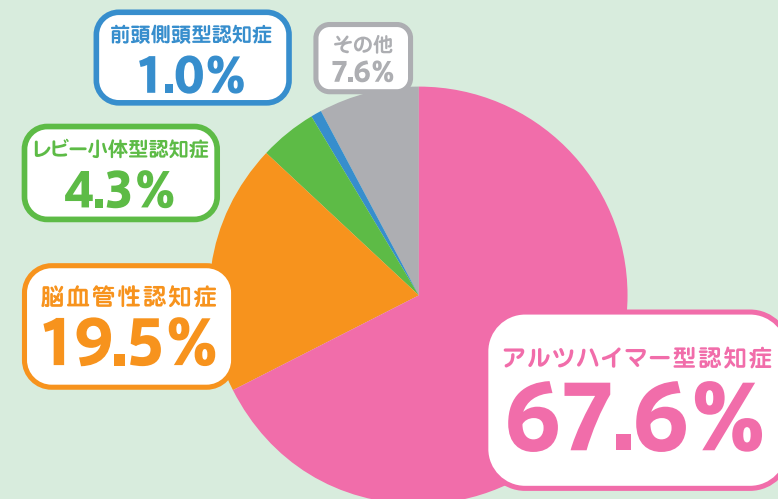
2025年には高齢者（65歳以上） 5人に1人は認知症に！



【認知症について】

認知症は、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。2012年は認知症患者数が462万人と、65歳以上の高齢者の7人に1人(有病率15.0%)であったが、2025年には約700万人、5人に1人になると見込まれている。

認知症の割合を示した円グラフ



【最も多いアルツハイマー型認知症】
 症状全体の60%以上を占めるため、認知症と言えはアルツハイマー型を思い浮かべる人も多いかもしれません。その特徴としては、女性の患者が多く、被害妄想や暴言・暴力、徘徊などに発展する可能性もあることです。同時に、介護者の負担も大きくなる傾向にあります。
 アルツハイマー型に次いで多いのが脳血管性認知症です。全体の20%弱と、割合としてはアルツハイマー型の3分の1程度。脳の血管の病気がきっかけとなって発症する認知症のことです。アルツハイマー型認知症に比べて男性の割合が高く、女性の2倍近くの有病率となっています。



誰がなってもおかしくない！

